

恩給法中改正法律案委員會會議錄 (抄出)

二四

幼稚園保姆恩給ノコトニ關シテハ全國聯合保育協會委員ニ於テモ、是非適當ノ解決ヲ得タイト努力シテキマスガ、其手段トシテ先般議會開會中山榊儀重君ヲ煩シテ同問題ヲ委員會ニ提出シテ頂キマシタ其速記ヲ左ニ抄出シマス。

會 議

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

昭和二年三月十九日(土曜日)午前十時三十八分開

古川 清君

議

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

出席委員左ノ如シ

委員長 佐々木一君

理事 福田 五郎君

理事 逆瀬川仁次郎君

淺川 浩君 神部 爲藏君

山榊 儀重君 長峰 與一君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 山川 端夫君

大藏書記官 佐野 正次君

文部政務次官 田中 善立君

(以下略)

(前略)

○佐々木委員長 折角文部省ノ委員ガ御出ニナリ

マシタカラ、此際山榊君ノ恩給法中改正案ニ付テ

質問ヲ願ヒタイ

○山榊委員 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上

ゲタイト思ヒマス、從來恩給法ニ於テハ官吏ノ職ニ依テ區々ニナツテ居リマシタノヲ、大正十二年ニ現行恩給法ヲ制定セラレマシテ、之ヲ整理統一セラタノデアリマス、其際ニ多少ノ恩典ヲ加ヘラレルコトニナリマシタモノデ、此案ノ關係致シテ居リマス、所ハ第四十二條デアリマス、四十二條ニ依リマスルト判任官若クハ判任官待遇タリシモノニ恩給ヲ給與セラレテ居リマシタモノヲ、此四十二條ニ依テ判任官若クハ判任官待遇遭タラザリシ者デモ、或ル一定ノ之ニ準ズベキ資格ヲ持ツテ勤務致シテ居ツタ者ガ、判任官若クハ判任官待遇ニナリマシタ後ニ退職致シマシテ、ソレガ恩給年限ニ達スル場合ニハ其前ノ判任官以下デアツタ時ノ在勤年月數ノ半分ダケヲ恩給年限ニ加算スルト云フ特典ヲ與ヘラレタノデアリマス、然ルニ普通ノ文官若クハ準軍人ニ付テハ、直ニ是ガ施行サレタノデアリマスガ、教育ニ關係スル所ノ是等ノ新シ

キ特典ヲ得タ人恩給法デハ之ヲ準教育職員ト稱シテ居リマスガ、此準教育職員ニ付テハ第九十九條ノ第二項ニ依リマシテ、當分ノ中之ヲ實施シナイコトニナツテ居ルノデアリマス、九十九條ノ第二項ニハ「教育職員ノ在職年ト第四十二條第一項各等ニ掲クル在職年トノ間ニ付亦同シ」トアツテ、當分施行シナイコトニナツテ居ルノデアリマス、此爲ニ折角四十二條ニ依テ與ヘラレタル恩典ヲ受クルコトノ出來ナイモノハ、小學校ノ準教員トカ幼稚園ノ保母ノ中デ保母ダケノ資格シカ持ツテ居ナイ、判任官待遇ヲ受クル資格ヲ持ツテ居ナイ者デアリマスガ、之ヲ合セルト一萬五千人ニ達スルノデアリマス、此一萬五千人ノ者ガ訓導トナリ若クハ判任官待遇ノ保母トナリマシタ際ニ、加算セラルベキ年數ガ之ニ依テ削除サレテ居ルノデアリマス、是ハ教育者優遇ノ上カラ見マシテ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、恩給法ガ制定セラレマシタ時

ニ、何故斯様ナ差別的待遇ヲ與ヘタカト云フ歴史ヲ見マス、第九十九條全部ガ教育者ノ恩給ニ對スル差別的待遇ヲ規定シテ居ルノデアリマスガ、當時文部省ノ役人ト恩給局ノ役人ガ折衝シテ居ル間ニ、色々ノ經緯ガアリマシテ、遂ニ事此ニ至ツタノデアリマス、教育者側ノ希望トシテハ、九十九條ノ一項ハ其儘置イテ、第二項ヲ全部復活致シタイト云フノデアリマスケレドモ、私共ハサウ云フコトハ餘リ宜シクナイ思フノデアリマシテ、準教育職員ニ恩給ノ恩典ニ浴セシムルダケノ御改正ヲ願ヒタイノデアリマス、私ハ先般恩給局ニ參リマシテ色々打合セテ見マシタガ、洵ニ御尤デアツテ、毫モ異議ハナイト云フコトデアリマスガ、九十九條ノ或ル部分トノ關係上、暫ク保留シテ吳レト云フヤウナ御話デ、實質ニ付テハ御氣ノ毒デアルト云フコトデアリマシタ、ドウカ本委員會ニ於キマシテモ、其事情ヲ御酌取リ下サイマシテ、御

賛成アラムコトヲ御願致ス次第デアリマス

○山川政府委員 此點モ一應御尤ノ次第デアルノデアリマス、是モ今政府デハ恩給法改正ノ調査ヲ致シテ居リマスルガ、其場合ニ於キマシテモ篤ト研究致シタ點デアリマス、恩給法第九十九條ノ教育職員ノ年數ハ通算シナイト云フヤウナコトニナツタノハ、今御話ノヤウニ必シモ係員ノ感情ノ衝突バカリデハナイ、實質上教育職員ト普通ノ文官トノ間ニ同ジャウナ取扱ヲシナイト云フコトガ便宜ナノデハナイカト云フヤウナ點カラ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、例ヘバ普通ノ文官ノ方デ恩給ヲ貰ツタガ、教育職員ニ就クト、恩給ヲ貰ヒナガラ教職員ノ俸給ヲ受ケ得ル、サウスルト安イ月給デ仕事ガ出來ル、教育ノ爲ニモ都合ガ好イ、本人ノ爲ニモ都合ガ好イト云フ關係モアリマス、ソレデサウ云フ恩給ダケノ均衡問題デナクシテ、教育上ノ實際ニ當ツテドウデアアルカト云フコ

トヲ、行政調査會ニ於テ極ク慎重ニ考慮致シマシタ、無論文部當局ノ人モ行政調査會ニ出テ居リマスカラ、恩給法ノ改正ガ教育ノ實際ニ工合ガ惡イヤウナ影響ヲ及ボシテモ困ル、理窟バカリ旨クヤツテモ、後デ例ヘバ教員ヲ得ルノニ却テ不都合ナコトガアルヤウナコトガアツテモ困ル、斯ウ云點モ極ク慎重ニ考慮致シマシテ、其結果只今得テ居ル所ヲ申シマレバ、第九十九條全體ヲ變ヘタイ今御話ノ點モ無論變ヘル、ソレカラ其他ノ點モ共ニ之ヲ適當ニ變ヘタイト云フコトデ、今審議中デアリマス、大體ノ成案ヲ得テ居リマスケレドモ、マダ確定ト云フ所ニ參リマセヌ、ソレデ御趣意ニハ無論反對ノ意味ハゴザイマセヌケレドモ、一部分ダケヲ此際變ヘルト云フコトハ政府トシテハ困ルノデアリマス、恩給ノ事ハ此案バカリデハアリマセヌガ、餘程全體ノ事ヲ能ク比較シテ見スト、一寸其理窟ガ好イカラト云ツテ一部ヲ變ヘマス

ト、ソレガ直グ後ニ非常ニ影響ヲ及ボスト云フコトモ起リ得ルノデアリマス、サウスルト又却チ公正ヲ缺クト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ是等ノ點ハ今政府デ全體ヲ能ク考ヘマシテ、サウシテ教育職員トノ關係或ハ準教職員ノ關係等ニ色々工合ノ惡イ點モアリマス、又其爲ニ却テ從來ハ教育職員ノ爲ニ都合ガ好カツタト云フ事情モアツテ、斯ウ云フモノガ出來テ居リマスカラ、サウ云フ點ニ總テ考慮致シマシテ、成ベク普通ノ文官ト同ジャウナ恩典ヲ與ヘルト云フコトニシテ、適當ナ改正ヲ加ヘルト云フコトニ今考慮中デアリマス是ダケヲ今通スコトハ一寸困リマスカラ、此次ニハ十分サウ云フ點ヲ考慮致シマシテ、適當ナ改案ヲ提出スル積リデアリマス、ドウゾサウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒタイ。

○山榊委員 只今法制局長官カラ御話ニナツタ點ハ、實ハ私ガ本案ヲ提出シテ居ル點トハ違ツタ點

ヲ御説明ニナツタト思ヒマス、只今御説明ニナツタ所ハ、教職員ト他ノ文武官トノ通算關係ノ點ニ付テ御説明ニナツタノデアリマシテ、其點ハ觸レテ居ラナイノデアリマシテ、準教育職員ト教育職員トノ通算關係ヲ申シテ居ルノデアリマス、其點ニ關スル政府ノ御所見ヲ承リタイ、御答辯ガ喰違ツテ居ルヤウデアリマス。

○山川政府委員 其點モ一緒ニ御答致シタ積リデアリマシタガ、九十九條全體ニ付テ今政府デハ考慮シツツアリマス、本案ニ付テ異議ガアル譯デハアリマセヌ、全體トシテ斯ウ云フ點ヲ總テ一括シテ適當ニ改正ヲ致シタイト云フ積リデアリマス、ソレデ九十九條全體或ハ恩給法全體ニ御互ニ工合ノ惡イ點ガ今ノ恩給法ニハアルヤウデアリマス、サウ云フ點ヲ彼此レ見合セマシテ、最モ適當ナ改正ヲ加ヘタイ、唯一部分ダケ一寸出サレマス、其爲ニ他ニ色々ナル影響ヲ生ズル點アツテハイケ

ナイ、サウ云フ趣意カラ申上ゲタノデアリマス。

○山榊委員 誤解ナイヤウニ私共ノ趣旨ヲ明白ニ致シテ置キタイト思ヒス、九十九條ノ第一項ハ所謂差額停止ノ規定ト稱セラレルモノデアリマス、即チ百圓ノ月給ヲ受ケテ教員ニナツテ居リマス、ソレガ退職シテ恩給ヲ受ケテ、サウシテ田舎ニ歸ツテ就職ヲ致シマス、六十圓デ就職ヲ致シマス、サウスルト恩給額ガ假ニ五十圓得テ居ルモノトシマスナラバ、今ノ俸給六十圓デアリマスカラ、之ニ五十圓ヲ加ヘマシテ百十圓ニナリマス、ソレヲ元ノ百圓ノ月給ノ程度ニ止メル、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ元ノ俸給マデハ、現在ノ俸給トノ差額ハ恩給デ支拂ツテヤル、斯ウ云フ規定デアリマシテ、此規定ハ教員優遇上ドウシテモ殘シテ置イテ戴カナケレバナラヌノデアリマシテ、九十九條ヲ此次ノ改正ノ時ニ全部削除サレテハ、教育界ハ甚ダ迷惑ヲ感ズルノデアリマス、第二項ノ部分ハ通算關係

デアリマシテ、恩給ノ年限ヲ此度ノ恩給法ニ依リ
マスト、是マデトハ異ナリマシテ、文官ガ武官ニ
ナリ武官ガ文官ニナツテ其年數ヲ是マデハ別々ニ
計算シテ居マシタガ、全部通算スルコトニナツテ
居ル併ナガラ教育職員ト文官トノ關係、若クハ教
育職員ト武官トノ相互關係ニ於テハ、通算ヲ致サ
ナイ、隨テ教員ヲ十四年ヤツテ文官ヲ十四年ヤツ
テ二十八年ヤツテモ、恩給ニ於テハ通算致サナイ
ト云フ規定ニナツテ居ルノデアリマス、是ハドウ
モ甚ダ困ルノデアリマシテ、此點ヲ改正ヲ致シテ
戴キタイト思フノデアリマスガ、何故私共ガ今改
正ヲ要求シナカツタカト云フト、是ハ警官ノ恩給
ニ關係ヲ致ス、警官ガ元矢張差額停止ガアリマシ
テ通算關係ガ認メラレテ居ナカツタ、是ガ丁度警
官ノ方ハ逆ニナリマシタ、差額停止ハ廢止ニナツ
テ通算關係ヲ認メラレル結果ニナリマシタカラ、
教育ト警官トハ全ク逆ノ關係ニナリマシタ、一方

有利ナ方ハ其儘ニシテ、不利ナル方ダケヲ改正シ
タイト云フノハ、餘リニ慾張り過ギルト思ヒマス
カラ、不利ナル方ハ暫ク忍ブコトト致シマシテ、
一項ト二項ノ初ノ部分ハ殘シテ置カレテモ今致方
ナイ、ケレドモ全ク他トノ均衡關係ナイ——私ノ
提案ハ法制局長官ハ他ニ關係ガアルヤウニ云ハレ
マシタケレドモ、此項目ダケハ他ト何等均衡關係
ハ生ジナイノデアリマス、是ガ改正ヲ爲サレテモ
些トモ全體ノ平均ヲ失フヤウナコトハナイノデア
リマス、私共ハソレヲ慮リマシテ、政府ニ御迷惑
ヲ掛ケナイヤウニト思ツテ、局限ヲ致シテ提案シ
テ居リマスノデ、其趣旨ヲドウゾ御諒解置キヲ願
ヒタイ

○山川政府委員 山榊君ノ御話ノコトハ能ク分リ
マシタガ、是ハ矢張四十二條トノ關係、色々他ニ
影響ヲ來シ得ルノデアリマス、例ヘバ四十二條第
一項ノ各號ニ掲グル軍人トモ關係ガアリマス、高

等文官試補トノ關係モアリマス、サウ云フ風ニ矢張他ニ影響ヲ及ボシテ來マスカラ、今御話ノヤウニ通算關係ナリ、或ハ差額給與ノ關係ナリ、ソレモ始終聯絡シテ來マスカラ、之ヲ考慮シテ最モ適當ナ案ヲ作リタイ、斯ウ云フ主宰デアリマス

○佐々木委員長 文部省ノ政府委員ノ御意見ヲ此際承ツテ置キタイ

○田中政府委員 只今法制局長官ノ御答ト同様デアリマス、文部省ト致シマシテハ、無論此準敎職員優遇ニ付テハ、提案者ノ意見ト同感デアリマスケレドモ、之ヲ改正セントスルニ付テハ、法制長官ノ御答ノ如ク、直ニ此御趣旨ニ御同意致シ兼ねルノデアリマス。

○佐々木委員長 別ニモウ此案ニ付キマシテハ御質疑ハアリマセヌデセウカ

(後略)

